

仁科芳雄博士顕彰 “ロボットコンテスト2022”開催要項

令和4年4月

1 趣 旨

科学技術の進歩はめざましく、新しい原理の探求と発見、それらを基礎とした技術の開発と利用は、豊かな人間生活を営む上に大きく寄与している。

創意工夫しながらロボットを製作し、競技に参加することを通して、科学する心を育むとともに、独創性や協調性、集中力を備えた健全な青少年の育成に資することを目的としている。今回は「これはゴミ？分ければ資源！」をテーマとして開催する。

2 主 催

公益財団法人 科学振興仁科財団・里庄町教育委員会

3 後 援 (予定)

岡山県教育委員会・山陽新聞社・RSK山陽放送株式会社・岡山県ケーブルテレビ振興協議会

4 開催形式

※新型コロナウイルス感染症への対策のため、例年とは開催形式を変更する。

パターン1での開催を目指す。新型コロナウイルス感染症の状況によっては、

パターン2またはパターン3に変更する。

パターン2の詳細は、後日発表する。

どのパターンで開催するかは、7月中旬頃に決定する。

パターン1：里庄中学校で一同に集まり開催

参加校が一同に集まり予選及び決勝トーナメントを行い、得点を競う。

パターン2：里庄中学校でいくつかのグループに分けて一日で開催

予選及び決勝トーナメントは行わない。競技を2回行い、得点を競う。

パターン3：ビデオ審査

得点は競わず、ロボットの完成度、独創性、運んだアイテム数などを審査する。

5分間のビデオを仁科会館に送る。自由に撮影する2分間のビデオと、固定カメラによる3分間の競技ビデオを撮影して編集する。

ビデオ審査に必要なアイテムは主催者が参加校に送る。

5 競技会開催日時・会場

(パターン1)

(1) 日 時 令和4年8月28日(日) 受 付 午前 8時00分から
開会式 午前 9時00分から

(2) 受付・マシン検査

里庄町役場正面玄関(浅口郡里庄町大字里見1107-2)

※受付当日、別紙様式“ロボットコンテスト2022”チェックシートと
“ロボットコンテスト2022”健康チェックシートを提出

(3) 開会行事・ロボット競技

里庄中学校体育館(浅口郡里庄町大字里見2535・町役場東隣)

※新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づいて開催する。

(パターン2)

(1) 日 時 令和4年8月28日(日)

(2) 閉会式について

閉会式は行わない。賞は後日発表し、賞状等は発送する。

※新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づいて開催する。

6 競 技

(1) 所定時間内に、ルールに従いアイテムを搬送先(ゴール)に運びその得点を競うものとする。

(2) 競技は、中学校部門・高等学校部門に分けて実施する。

7 審査及び審査員

審査は、別途に委嘱する審査員が行う。

8 賞 (パターン1またはパターン2で開催の場合)

(1) 得点賞(賞状、トロフィー)

- | | | | |
|---------|----|-----|----|
| ・中学校部門 | 優勝 | 準優勝 | 3位 |
| ・高等学校部門 | 優勝 | 準優勝 | 3位 |

(2) 仁科独創賞(賞状、トロフィー、副賞)

- ・特に優れたアイデアを持ち、機械的に優秀なロボット。
中学、高校 各1チーム

(3) アイディア賞(賞状、トロフィー)

- ・斬新なアイデアによる動作を実現したロボット。
中学、高校 合わせて3チーム

(4) チャレンジ賞(賞状、トロフィー)

- ・斬新なアイデアの実現に挑戦したロボット、または、機械的にユニークなロボット。
中学、高校 合わせて5チーム程度

(5) 特別賞(該当するロボットがあった場合)

(6) 参加賞(ロボコン2022ロゴ入りTシャツ。当日着用して出場する。)

賞 (パターン3の場合)

(1) 仁科独創賞(賞状、トロフィー、副賞)

- ・特に優れたアイデアを持ち、機械的に優秀なロボット。
中学、高校 各1チーム

(2) ベストパフォーマンス賞(賞状、トロフィー)

- ・アイテム操作が最も優秀なロボット。
中学、高校 各1チーム

(3) アイディア賞(賞状、トロフィー)

- ・斬新なアイデアによる動作を実現したロボット。
中学、高校 合わせて3チーム

(4) 技術賞(賞状、トロフィー)

- ・アイテム操作が安定して行える機械的に優れたロボット。
中学、高校 合わせて3チーム

(5) チャレンジ賞(賞状、トロフィー)

- ・斬新なアイデアの実現に挑戦したロボット、または、機械的にユニークなロボット。
中学、高校 合わせて10チーム程度

(6) 参加賞(ロボコン2022ロゴ入りTシャツ。ビデオ撮影時に着用する。)

※パターン3では得点の確認が困難となるため代わりに別の賞を授与する。

9 参加申し込み

(1) 別紙様式により、「参加チームごとの参加申込書・参加者一覧表」を提出する。

(提出先) 〒719-0303 浅口郡里庄町大字浜中892-1

公益財団法人 科学振興仁科財団 あて

電話 0865-64-4888 電子メール: nishina@nishina.town.satosho.okayama.jp

(2) 申込期限 第1次申し込み 7月 2日(土) 参加申込書を提出

第2次申し込み 7月 30日(土) 参加申込書・参加者一覧表を提出

10 参加資格

参加者は、次の要件を全て満たすものとする。

(1) 岡山県内の中・高等学校に在学する生徒であること。

(2) ロボットは、学校の教育活動(教科・部活動・同好会等)の一環として担当教師の指導下で製作されたものであること。

(3) 参加は学校単位とし、担当教師は、責任引率並びに大会役員を務めること。

(4) **1チームの構成員は3名以上8名以下**とし、各校の参加チーム数の上限を4チームとする。1人の参加者が複数のチームに属することはできない。

※ 学科・教科・部活動等、教育活動の区分が異なり、担当教師が異なる場合に限り、それぞれを1校と見なすことができる。

11 ロボット製作補助金関係

アイテムを運ぶ機能を持ち、出場したマシンについて支給する。

12 事業分担及び推進体制

(1) 事業分担

公益財団法人 科学振興仁科財団は、審査委員等の協力を得て、ロボットコンテストの企画・実施にあたる。

(2) 推進体制

① 参加校の担当教員若干名を運営委員に委嘱し、円滑な運営を図る。

② 参加校の担当教員等の協力を得て役割分担を定め、競技のスムーズな進行を図る。
(競技係、放送係、記録係、会場係)

13 広 報

ポスターと要項の配布の他、テレビ・ラジオ・新聞などの協力を得て広報に努める。

14 新型コロナウイルス感染症対策(パターン1またはパターン2で開催の場合)

(1) 大会にご参加いただけない方

① 体温が37.5℃以上となった方(大会の会場でも検温いたします)

② 新型コロナウイルス感染症の患者と開催日前の2週間以内に濃厚接触のあった方

③ 通学する学校内で新型コロナウイルス感染症の患者が出たチームは学校と事務局との協議により決定します。

※体温が37.4℃以下の場合でも、風邪等、体調不良の症状がみられる時は出場及び入場をお断りすることもございます。

1週間前から健康管理をしっかりとってください。

(2) ご出場にあたり

① ご出場の際は、必ずマスクを着用してください。

② 体育館へ入場の際は、必ず手指の消毒と非接触体温計で検温をしてください。

③ 試合中の応援の声掛け等は禁止します。

15 その他

(1) 下記日程により、仁科会館の練習台、アイテム等を利用することができる。

(要、事前予約)

8月16日(火)～8月26日(金) 10:00～12:00、13:00～16:00 の範囲で、
1日1回以内、2時間以内とする。食事を取ることはできない。

※ 8月20日(土)は、理化学研究所里庄セミナーにつき利用できない。

8月21日(日)は、全体打合会のため10:00～12:00までの使用とする。

8月22日(月)は、休館日につき利用できない。

(2) 主催者は、テレビ番組製作と放映が行われるよう努める。

(3) パターン1で開催の場合一般の観覧を認める場合がある。

(4) 打合会またはビデオ審査説明会について

① パターン1またはパターン2で開催の場合

出場全校の打合会を8月21日(日) 13時30分から予定している。

② パターン3の場合

ビデオ審査説明会を8月6日(土) 13時30分から予定している。

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、オンライン開催の可能性はある。